

第6戦 10月23日(日)

東京港

今シーズンのジャパンカップもいよいよファイナル。

一年の締めくくりとして、来シーズンへのステップアップとして、
重要な一戦となる東京港大会。

秋の台場で日本選手権とジャパンカップシリーズチャンピオンの
座をかけた戦いの火ぶたが幕を切る。



2大タイトルを 狙え!!



今年もお台場で最終決戦

NTTトライアスロンジャパンカップ第6戦

2005ITUインターナショナルイベント東京港大会

第11回日本トライアスロン選手権

<兼2005ジャパンカップシリーズチャンピオンシップ大会>

今シーズンを締めくくる首都決戦

10月23日(日)、NTTトライアスロンジャパンカップ第6戦・2005ITUインターナショナルイベント東京港大会・第11回日本トライアスロン選手権兼2005ジャパンカップシリーズチャンピオンシップ大会が東京・台場で開催される。

2001年から日本選手権の舞台となった東京・台場には毎年数万人の観客が詰めかけ、シーズンの締めくくりを迎えるにふさわしい最高のシチュエーションが用意されている。

日本選手権とシリーズチャンピオンの2大タイトルを掲げ、今年も東京港大会では日本最高峰の戦いが繰り広げられる。

2大タイトルをかけた熱戦

昨年のレースを振り返ると、女子はアテネ・オリンピック代表の関根明子(NTT東日本・NTT西日本)、庭田清美(アシックス・ザバス)、中西真知子(NTT東日本・NTT西日本)に若手選手らがどう絡んでいくかに注目された。スイムは、古谷あかね(和歌山県連合)、忽那静香(日東紅茶TEAM KEN'S A&A)がスイムを得意とす

る若手がトップであるも、続くバイクでは第1集団に3名のオリンピック組がしっかりと食らいつき、勝負はランへと持ち越された。ランでは絶対調な走りを見せた関根が最後まで快走し見事優勝。続く2位に庭田が、3位に忽那が入った。

一方男子は、オリンピックの疲れをものともしない田山寛豪(チームテイケイ)が終始リードを続け、後続のカートニー・アトキンソン(AUS)を抑えトップでフィニッシュ。3位には平野司(関西大学)が入り、見事初シリーズチャンピオンの座を手にした。

栄冠は誰の手に!?

トップ選手が一堂に集結するジャパンカップ最終戦。昨年は男女ともにアテネ・オリンピック代表組が選手権を制し、実力の差を見せつける結果となった。しかしそのなか、男子シリーズチャンピオンに平野が輝くなど、若手選手も着実に実力を備えてきている。

ベテランも若手も新たに同じラインからスタートを切る今シーズン。締めくくりのお台場で栄冠を手にするのは一体誰なのか!?

Start 女子8:10 男子10:30
距離 51.5km(スイム1.5km、バイク40km、ラン10km)
テレビ放映 テレビ東京・BSジャパン(2004年実績)
Web <http://www.tokyo-np.co.jp/event>
問い合わせ 〒100-0011東京都千代田区区内幸町2-1-4
東京新聞スポーツ事業部
第11回日本トライアスロン選手権東京港大会事務局
TEL03-3503-4855 FAX03-3503-1438
特別協賛 NTT東日本

歴代チャンピオン

	女子	男子
1995	小林美智子(チームニコス)	田村 嘉規(西京味噌)
1996	小梅川雪絵(三田工業)	山口 博久(埼玉県連合)
1997	中西真知子(チームNTT)	星野 健一(千葉県連合)
1998	枇杷田深雪(大阪信愛女学院短大)	星野 健一(チームTJ)
1999	小梅川雪絵(チームテイケイ)	小原 工(チームテイケイ)
2000	小梅川雪絵(チームテイケイ)	齋藤 大輝(アラコ)
2001	関根 明子(NTT東日本・NTT西日本)	田山 寛豪(流通経済大学)
2002	中西真知子(NTT東日本)	福井 英敏(シャクリー・稲毛ITC)
2003	庭田 清美(アシックス・ザバス)	西内 洋行(チームテイケイ)

2004Result

女子	1	関根 明子(NTT東日本・NTT西日本)	2:00:57
	2	庭田 清美(アシックス・ザバス)	2:01:33
	3	忽那 静香(日東紅茶TEAM KEN'S A&A)	2:02:03
男子	1	田山 寛豪(チームテイケイ)	1:49:07
	2	カートニー・アトキンソン(AUS)	1:50:04
	3	平野 司(関西大学)	1:50:05

